



労働者友愛會案内

本部 東京都芝区三田四丁目一
本部出張所 大阪市北区野田江崎町五

大正 八年 四月 二日
東京芝区三田四丁目一
電話 五八五五 電報 東京三二五七

會長 法學士 鈴木文治
顧問 法學士 添田壽一
法學士 桑田熊藏
法學士 小河滋次郎

労働者は團結せよ
時代も進歩し、社会も進歩する。風潮々々すれども、時に時代後れとなる。我等労働者も、時勢に大奮闘して、時勢後れにならないやうに努めねばならぬ。夫れには何よりも先づ團結を作らねばならぬ。
世の中にはさうならぬことが多い。自分も弱るる労働者は、個人孤立する時は、まうならぬことだらけである。まうならぬ世を、出来る。まうなるやうに奮す所には、労働者の團結がある。夫には、労働者の團結を爲さねばならぬ。
世の間では、勤めもすれば、我々を貧民に扱ひにして、慈善や恩恵を施さうとする。けれども我々には手もあれば足もある。

人々食であるまいし、幸りに人のお情を安んじて居られない。労働者が其本来の生活を尊重し、自主獨立の生活をするが爲めには、個人が力不足では足らぬ。是非とも團結せなければならぬ。
世界的競争もいつれ終らう。戦後には吹ぶものは不景氣の風である。不景氣の風が吹く時は、續々たるものは、減縮沙汰、解雇、これに伴ふ而して問題ある。日本に於いては、戦後準備の第一は、労働者を取り、戦後準備の第一は、團結を爲すことである。爲す爲にも團結、地、向上の爲にも團結、團結の爲に労働者は、小資本を集め、大資本を集め、

なして大事業を爲し、軍隊に個々の兵士を組立て偉大なることを。
入會の手續
▽會員となるには
□本會の構成員に養成した労働者諸君（男でも女でもかまひません）が入會を望まれる方は、もよのまに申請して申込書を御覽下さい。近所に支部がない場合には直轄に本部の出張所にお問合せ下さい。さうすれば出張所では丁寧に御教へ申し上げます。
□本會の會費は毎月十五錢であります。御入會の時だけは、入會費として二十五錢を支部に御納め下さい。其月の會費は免除します。但し會員が三十名になつて支部を設立するまでは入會金及び會費は、凡て本部に御送り願ひます。
□本部は之に對して會員證、會員徽章、及び機關雜誌一部をお上げ致します。
▽會員となれば
□會員は毎月十五錢の會費を納めねばなりません。もの代り會員は單面のやうな色々な事業の特典にあつたことが出ます。

書込申會入

No.

姓名	生年月日	年	月	日生
現住所				
本籍地				
職業				
紹介者氏名				
貴會の主義綱領及規則承知の上入會金相添へ				
大正 年 月 日 右人會者				
友愛會 支部 御				
右紹介者				
會員として入會申込候也				

得たことある者も併せて御案内